

モノグサ

# Monoxerの仕組み

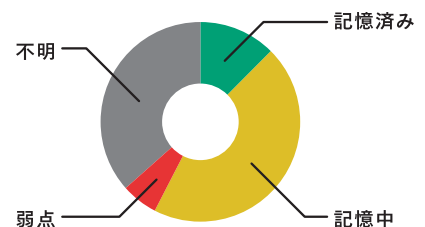
## 01 記憶度に合わせて難易度変化

問題を解くたびにMonoxerが記憶状態を細かく分析し、必要な問題を必要なだけ適切な難易度で出題します。いわば、個人の専用問題集が出来上がるようなイメージです。出てくる問題を解き続けるだけで、「憶えている」状態にたどり着けます。忘却速度も分析されるので、「忘れた頃」を見計らって復習問題も出題されます。



## 02 定着度を可視化

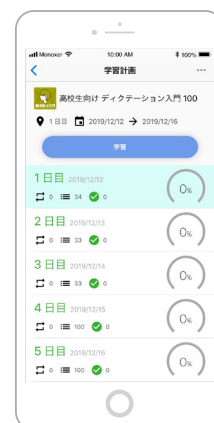
紙の教材やいくつかのアプリでは「憶えられたか」を自分自身やその時その時だけの確認テストで確認するしかありませんが、Monoxerは各難易度ごとの正誤情報や回答履歴をすべて集計しており、「今どれだけ憶えられているか」をAIが判定・計測します。学習履歴はもちろん、これまであいまいだった生徒様一人一人の「記憶度」を客観的に、正確に測定することが可能となります。



**記憶度** 全てが記憶済みになると記憶度100%になります

## 03 憶えるための計画を提案

学習計画機能を利用すると、「課題(タスク)を何日で憶えるか」目標を設定できます。目標期限までに憶えさるよう、Monoxerが学習者の日々の取り組みを元に毎日の学習内容を提案します。目標日までに必要なものを長期記憶化するための復習まで織り込んで学習することができます。



### 学習計画

日々の取り組みを元に毎日の学習内容を提案

学習期間

定着期間